

<b>子どもワークショップ 会議録</b>	
開催日時	平成26年3月21日（金）午後2時から午後3時30分まで
開催場所	奈良市役所 北棟5階 第21会議室
出席者	<p>【奈良市子ども条例検討委員会】 5名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田進士 委員長      ・木下勇 副委員長</li> <li>・原京子 委員              ・近藤正基 委員</li> <li>・奥田真紀子 委員</li> </ul> <p>【事務局】 10名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺田耕一 子ども未来部長      ・石原勉 子ども未来部理事</li> <li>・山岡利啓 子ども未来部参事      ・中川昌美 子ども政策課長</li> <li>・岡崎利彦 こども園推進課長      ・竹内義朋 保育所・幼稚園課長</li> <li>・川尻ひとみ 子ども育成課長      ・上村 均 子育て相談課長</li> <li>・梅田真寿美 学校教育課長      ・松田義秀 地域教育課長</li> </ul>
開催形態	公開（傍聴人0人）
担当課	子ども未来部子ども政策課
<b>会議の経過・議決事項・その他参考事項</b>	
<p>委員長から、平成24年度及び平成25年度未来をひらく子どもワークショップにおいて子ども参加者から出された意見が、奈良市子ども条例の検討にどのように活かされているかを説明し、子ども参加者と意見交換を行った。</p> <p>子ども参加者から、過去のワークショップで出された意見で、「全身制服ではなく、一部にしてほしい」という意見と、「私服を制服にしてほしい」という意見があり、逆の意見であるが、このような意見はどのように取り入れていくのかとの質問が出された。それに対して、委員からは、いろいろな意見があるので、それを大人だけで決めないことと、みんなの共通の願いにするためにしっかり話し合っていくことが大切であると回答した。</p> <p>子ども参加者から、子ども会議をする際は、多くの人に参加しやすいような環境づくりを考えてほしいとの意見が出された。</p> <p>子ども参加者から、子ども会議で、奈良市全体のことを考えるのは規模が大きいので、自分の住んでいる地域での話し合いにすれば、やりやすいのではないかと意見が出された。</p> <p>子ども参加者から、意見箱が設置されると、出された意見は誰が確認するのかとの質問が出された。それに対し、委員から、意見の内容によると思うので、どんな意見でも出しやすいように基本的には子どもたちが安心できるやり方でや</p>	

りますと回答した。

子ども参加者から、意見箱等に先生への一方的な苦情の意見が寄せられて、先生がそれを気にするようなことにならないように、意見が事実かどうかを見分ける制度を作ってほしいとの意見が出された。それに対し、事務局は、教育委員会には先生の相談を受ける窓口があり、仮にそういうことが起こっても、教育委員会の中にきちんと対応しながら、状況を確認して解決していける仕組みがあるので心配しなくてもいいのではないかと回答した。

子ども参加者から、「子どもワークショップ参加者との意見交換において出された意見に対する考え方」の資料の子ども会議の部分について、スカイプを使う案があるが、話し合う時は会った方がいいのではないかと意見が出された。

委員から、「子どもワークショップ参加者との意見交換において出された意見に対する考え方」の資料の3番目の意見に「子どもの生活がもっと向上するために努めなければならないという文章を入れてほしい。」という意見についての回答はこれで納得してもらえているかとの質問が出された。それに対し、子ども参加者は、やはりこの一文を入れてほしいとの意見が出された。結論として、生活の向上という文言をどのような形で含めるかは、任せてほしいと回答した。

最後に子ども参加者から一言

- ・タブレット授業の導入を進めてほしいです。
- ・駐輪場が駅に無料であれば、駅を使いやすいので、無料の駐輪場を造ってほしい。
- ・これからもいろんな立場の子どもの意見を聴いてほしい。
- ・条例には子どもたちから出される意見を見分けて事実かどうかを判断できるような仕組みを設けてもらいたい。
- ・子どもも概要版作りに参加できたらいいなと思いました。また、今後の計画を決める段階のところでも、子どもたちに知らせてもらえたらいいのかなと思いました。
- ・スクールサポーターの立場だと先生より少し生徒に近い存在なので、先生には言わないでほしいと言いながら相談されることもあるので、そんな時にスクールサポーターが相談できるところがあればいいと思います。もし子ども会議があるのであれば、そういうスクールサポーターを派遣して、意見を聴き出すっていうのをしたらいいのではないかと思います。
- ・意見箱が大切だと思ったので、実現してほしいです。

- ・道を広くしてほしい。今、通学路が狭いので、広くしてもらえると安全に学校に行くことができると思います。
- ・学校の授業の道徳とか総合の時に、子ども版のパンフレットを作って、先生と一緒に読み合わせをすれば子どもたちにもわかりやすいと思います。
- ・校長先生が生徒に気をつけているような学校があるみたいで、他の先生も同じような感じでなかなか生徒に注意できないところがあって、そういう時、先生がちゃんと生徒より立場が上になれるようになってほしいと思いました。
- ・自分勝手っぽい先生がいると、意見がなかなか言いにくいので、子ども会議でそのようなことができればいいと思います。